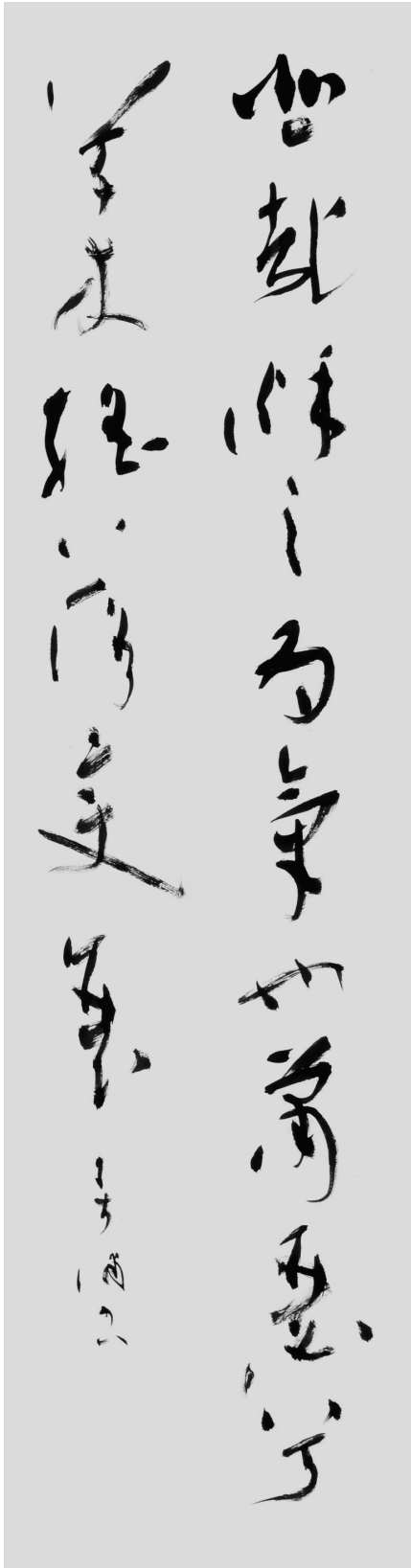


条幅部自由参考

10月25日正午必着

明石春浦先生書



悲哉秋之爲氣也

蕭瑟兮草木搖落變衰 (先秦・宋玉)

なんと悲しいことだ、秋の気というものは。さわさわと、草や木は葉を揺らぎ落として、枯れ衰えていく。

明石幸子書



三爲百里宰
魚鹽濱海利

已過二十餘年
桑柘傍湖田

祇嘆官如舊
到此安民俗
旋聞邑屢遷
琴堂又晏然

(韋応物)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

吹_ニ笛_ニ秋_ニ山_ニ風_ニ月_ニ清_ニ (杜 甫)

笛を秋山に吹いて風月清し

風月清き秋山に笛を吹く。

葉_ニ擁_ニ西_ニ風_ニ秋_ニ有_レ思_ニ
天_ニ垂_ニ北_ニ斗_ニ夜_ニ無_レ聲_ニ (楊雲翼)

葉は西風を擁して秋思い有り
天は北斗を垂れて夜声無し

草木の葉は秋風にゆれてそぞろに思うところ多く、夜空
には北斗星がかかって音もなくさえわたっている。

秋_ニ日_ニ送_ニ方_ニ干_ニ游_ニ上_ニ元_ニ (曹 松)

秋_ニ日_ニ 方_ニ干_ニの_ニ上_ニ元_ニに_ニ遊_ニぶ_ニを_ニ送_ニる_ニ 曹_ニ松_ニ

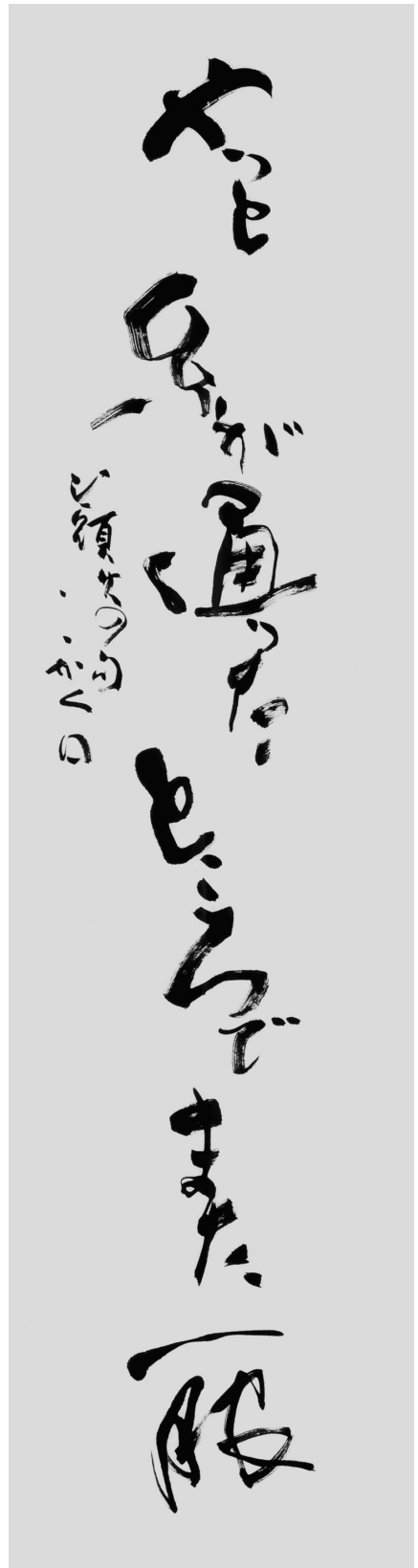
天_ニ高_ニ淮_ニ泗_ニ白_ニ 料_ニ子_ニ趣_ニ脩_ニ程_ニ
汲_レ水_ニ疑_ニ山_ニ動_ニ 揚_レ帆_ニ覺_ニ岸_ニ行_ニ
雲_ニ離_ニ京_ニ口_ニ樹_ニ 雁_ニ入_ニ石_ニ頭_ニ城_ニ
後_ニ夜_ニ分_ニ遙_ニ念_ニ 諸_ニ峯_ニ霧_ニ露_ニ生_ニ

天_ニ高_ニく_ニし_テ 淮_ニ泗_ニ白_ニし_テ 料_ニる_ニ 子_ニが_ニ脩_ニ程_ニに_ニ趣_ニく_ニを_ニ
水_ニを_ニ汲_ニみ_ニて_ニは_ニ 山_ニの_ニ動_ニく_ニか_ニと_ニ疑_ニい_ニ 帆_ニを_ニ揚_ニげ_ニて_ニは_ニ 岸_ニの_ニ行_ニく_ニか_ニと_ニ覺_ニゆ_ニ
雲_ニは_ニ離_ニる_ニ 京_ニ口_ニの_ニ樹_ニ 雁_ニは_ニ入_ニる_ニ 石_ニ頭_ニ城_ニ
後_ニ夜_ニ 遙_ニ念_ニを_ニ分_ニち_ニ 諸_ニ峰_ニ 霧_ニ露_ニ生_ニず

石_ニ崖_ニに_ニ子_ニども_ニ七_ニ人_ニ 腰_ニか_ニけ_テて_ニ河_ニ豚_ニを_ニ釣_ニり_ニ居_ニり_ニ 夕_ニ焼_ニ小_ニ焼_ニ (北原 白秋)

石_ニ崖_ニに_ニ子_ニども_ニ七_ニ人_ニ 腰_ニか_ニけ_テて_ニ河_ニ豚_ニを_ニ釣_ニり_ニ居_ニり_ニ 夕_ニ焼_ニ小_ニ焼_ニ

やつと糸が通つたところでもまた一服(種田山頭火)



雨宮春聲先生書

半紙部規定課題A

10月25日正午必着

心 北
極 關
馳

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

10月25日正午必着

行書

北 關 馳
心 極

隸書

北 關 馳
心 極

明石春浦先生書

草書

北 關 馳
心 極

行草書

北 關 馳
心 極

地上見たすかぎり朝の日ざしが満ちわたり 空のはてに昨夜来の霧も消え去った
風は残雪をまじえつつ吹き起り 河の水はくだけた氷を浮べつつ流れる
北方の宮門に心のすべてを捧げているが 南を指してなおも旅中の身の上
高みに上って見はるかせば、もの思いははてしなく 憂愁の心を癒すところをどこに見出せよう

冬日野望

于良史

地際朝陽滿

天邊宿霧收

風兼殘雪起

河帶斷冰流

北關馳心極

南圖尙旅游

登臨思不已

何處可消憂

冬日の野望

于良史

地際朝陽滿ち

天辺宿霧収まる

風は残雪を兼ねて起り

河は断氷を帯びて流る

北關心極を馳せ

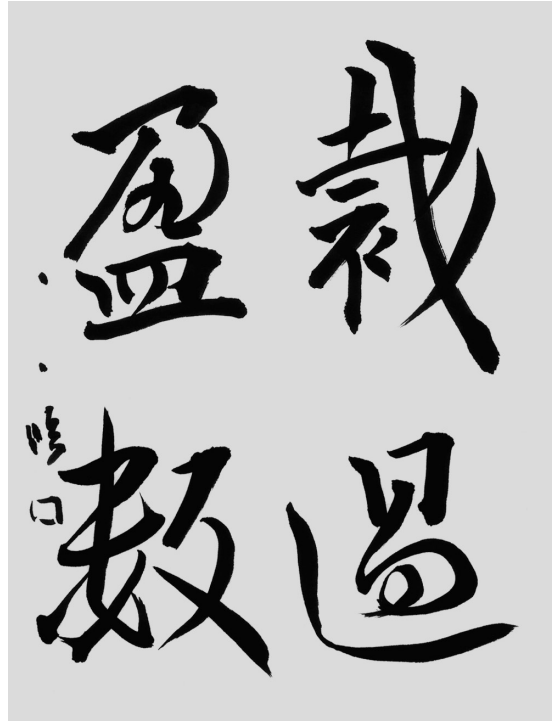
南圖尙お旅游す

登臨して 思い已まず

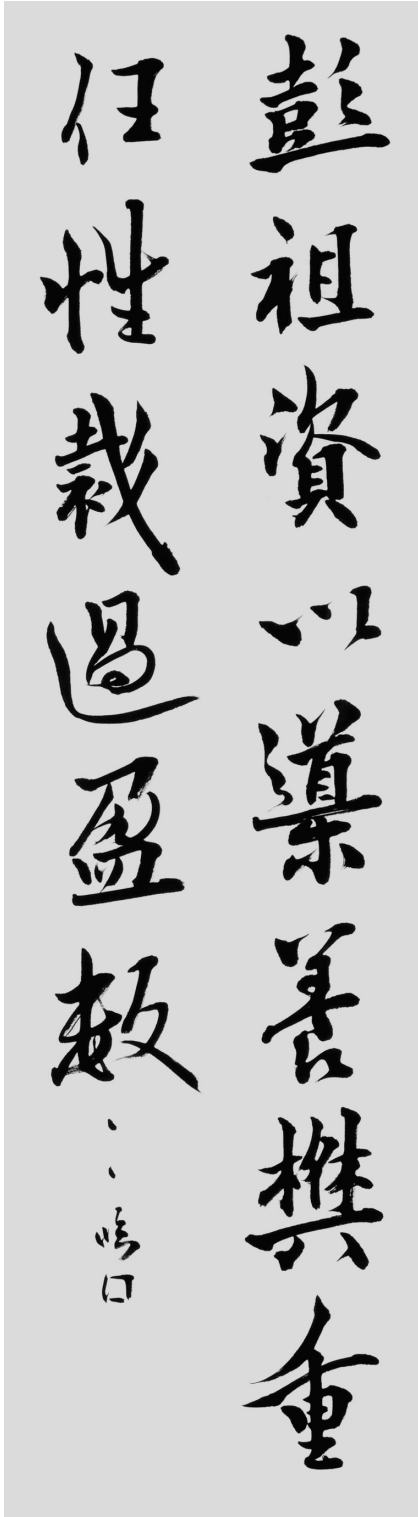
何れの処にか 憂いを消す可き



仲尼夢奠。七十有二。周王九齡。俱不滿百。彭祖資以導養。樊重任性。裁過盈數。終歸冥滅。無有得停住者。未有生而不老。
 仲尼、夢に奠せられしとき、七十有二、周王は九齡、俱に百に満たず。彭祖、資するに導養を以ってし、樊重、性に任じ、
 停住を得る者有るなし。未だ生じて老いず、
 未有生而不老、
 裁に盈数を過ぐるも、終に冥滅に帰し、



裁に盈教を過ぐるも、



彭祖、資するに導養を以ってし、樊重、性に任じ、裁に盈教を過ぐるも、

唐 歐陽詢・仲尼夢奠帖

歐陽詢は陳の永定元年（五五七）、潭州臨湘の生まれで、字は信本。中国では南北朝時代を終え、南北朝一国家としての隋が誕生する。そして、隋代の三十年を経て、中国史上もっとも偉大な王朝といわれる唐王朝が建国された。唐代（六一八〜九〇七）は、建国から滅亡に至るまでおよそ二九〇年間続いたが、とりわけ隆盛を極めたのは二代皇帝太宗（李世民）の時代であった。彼は聡明で、すぐれた政治的手腕をもち、大きな功績を残した。（貞観の治）

文化史的観点からみると、隋から初唐にかけての時代は古今に比類のないほど書の名人大家が輩出した時代で、南北朝の統一によって文化も統一融合を見るに至ったのである。そしてその統一の完成期が太宗の時代であると言われている。

太宗は生来書を好み、殊に王羲之の書を寵愛した。したがって、彼は文化政策の一環として、書道の確立に大いに力を注いだ。その太宗に虞世南とともに重用されたのが歐陽詢である。彼はいかなる書でも巧みにこなした人であったが、その書は楷書に代表され、南朝の伝統的な書を基盤とした典雅な中に力強い動きをこめた書風は、唐王朝の隆昌を表現するものと言えよう。

仲尼夢奠帖は歐陽詢の行書の第一の筆蹟であり、いわゆる歐書の峻拔勁峭の気が溢れたものと言われている。（春濤）



かい
解

けつ
決

中学一年

雨宮春聲先生書



しょう
精

しん
進

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



かい

せい

小学五年

榎戸春龍先生書



もん

どう

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

10月25日正午必着



めい げつ
名 月

小学三年

藤田幸春先生書



りん どう
林 道

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

え き 小学一年・幼年



森戸春濤書

あ う 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

少女のすんだ歌声が
アルプスの山にひびく

小学五年

男たちは希望をむね
に七つの海にいとむ

小学六年

歴史は古しといえど
も常に新たである

中学

詩や書物は自分の心に関
寂の境地を作そくれる

一般(級位)

秋風のそら晴れぬれば千曲川
白き河原に出てあそぶかな

あきかぜのそら は 晴れぬれば ちくまがわ しろがわら 出てあそぶかな (若山牧水)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

の	う
	さ
お	ぎ
は	と
な	
し	か
	め

幼年

た	た
	け
か	か
ぐ	ら
や	生
ひ	ま
め	れ

小学一年

び	お
き	お
の	か
子	み
ぶ	と
た	
	三

小学二年

都	一
へ	す
上	ん
り	ぼ
ま	う
し	し
た	は

小学三年

う	深
伝	い
説	森
の	に
白	す
い	む
く	と
ま	い

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

10月25日正午必着



岩本景楓先生書

ゆく春を
とぐめか
登免可
ねぬる
夕暮は
ハ
あけぼの
希
のよりも
利毛
あはれ
阿者連
なりけり
連理
(西行法師)